

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本
秀夫

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本 秀夫
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

1 事業所の概要

事業所の名称	京セラ株式会社 滋賀東近江工場 第2ブロック					
事業所の所在地	滋賀県東近江市蛇溝町1166-6					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	8	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業
事業の概要	ファインセラミック製品、電子部品、通信用パッケージ製造					
従業員の数	1,286	人	操業時間	9 8:00-16:45 (休憩含む)	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	14	台
	照明設備	7000	台	コンプレッサ	38	台
				空気調和設備	452	台
				室外機		
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2027	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

別紙1 に記載(※シートの別紙1とは別)

2 取組の推進体制

別紙2 に記載(※シートの別紙2とは別)

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

別紙3 に記載

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明のLED化	2023	取り組み中 一部2025年度後ろ倒し
2	運用改善	炉のアフターバーナー間欠運転	2024	対策完了済み
3	プロセス改善	生産設備の効率改善	2027	順次実施中 2024年度:炉の統合実施
4	運用改善	生産の歩留まり改善	2027	順次実施中
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		特にありません。		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>年平均1%以上のエネルギー原単位の削減を図る。</p> <p>エネルギー原単位の考え方は下記式にて算出 エネルギー原単位 = 原油換算エネルギー使用量(kL) / 総生産金額(百万円)</p>	<p>従来、機構部品事業部の焼成工程は東近江工場第1ブロックでの生産計上をしており、エネルギー使用量も東近江工場第1ブロックにて計上していたが、それを見直し、本工場にてエネルギー使用量の計上を行うようにしたため、2ブロックの原単位悪化。 本年度、原油換算で+900kLの影響があり、それを除いた場合の工場全体のエネルギー原単位は改善となる。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
原油換算エネルギー使用量	kL	16,578	14,159			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	21,627	20,486			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	21,627	20,486			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0			
CH ₄	t-CO ₂	0	0			
N ₂ O	t-CO ₂	0	0			
HFCs	t-CO ₂	0	0			
PFCs	t-CO ₂	0	0			
SF ₆	t-CO ₂	0	0			
NF ₃	t-CO ₂	0	0			
エネルギー等原単位の推移		0.459	0.468			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電の導入	2026	新建屋および警備室での追加設置 計画中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	オンサイト、オフサイト、託送による再生可能エネルギー導入
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	679 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	763,468	753,903				
上記のうち自家消費量	kWh	172,914	170,423				

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
「LED照明の生産を通じた他者のCO ₂ の削減」 京セラ(株)滋賀東近江工場第2ブロックでは、LED照明を生産しています。 蛍光灯と比べて消費電力量が少なく、約4万時間の期待寿命を実現しております。蛍光灯からLED照明に変更した場合、購入した他者が長期の製品寿命に亘って二酸化炭素を削減することが期待できます。 前計画期間に続き、本計画期間においても、LED照明の生産を通じて、低炭素社会づくりを推進して参ります。	2023年度のLED照明の生産により、2,879.9t-CO ₂ の二酸化炭素排出削減に貢献することができました。
	CO ₂ 削減貢献量
	2,879.9 t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
貢献量は、同じ照度(明るさ)の蛍光灯とLED照明に交換した場合の消費電力の差で比較することとします。LED照明は、社内および社外のLCAの結果から、「使用」段階でのCO ₂ 排出量が、全体の9割以上を占めることから、「使用」段階での消費電力を比較します。 また、製品を通じた貢献は製品寿命の期間中続くので、算定に当たっては製品寿命期間(平均:4万時間)を積算し、さらに、主力製品(直管LEDランプ)は、すべて国内向けの出荷であることから、CO ₂ への換算に当たっては全国平均係数(令和5年報告用公表値は0.434kgCO ₂ /kWh)を用いることとします。 ◎貢献量の算定式 (同一照度のLED照明と蛍光灯の消費電力の差)×(年間生産量)×(製品寿命)×(全国平均CO ₂ 排出係数) =年間CO ₂ 削減量

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
2023年度のLED照明の生産により、2,879.9 t-CO ₂ の二酸化炭素排出削減に貢献することができました。
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
◎貢献量の算定式 (同一照度のLED照明と蛍光灯の消費電力の差)×(年間生産量)×(製品寿命)×(全国平均CO ₂ 排出係数:令和6年報告用公表数値は0.438を使用) =年間CO ₂ 削減量

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	21,627	21,107				
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	22,305	21,107				
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.311	0.311				
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0				
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0				
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1		特にありません		
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	保有車輛の数	台	29	27				
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	9	10				
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1		特にありません。		
2				
3				
4				
5				